

資金調達プログラム ファクトシート

資本市場におけるインパクト投資

IFCの資金調達プログラム

IFCは、トリプルAの信用格付けを維持しながら、途上国の包摂的かつ持続可能な経済成長を促進するため、資本市場を通じて資金を調達しています。コア通貨建てのベンチマーク債、テーマ債、新興国通貨建て債券の発行等、資本市場の発展を促進するために多様な発行を行っています。IFCは、主に米ドルで貸出を行っていますが、幅広い投資家層へのアクセス、コスト削減、新興資本市場発展の支援のために、様々な通貨での資金調達を行っています。

IFCの資金調達プログラムは、融資拡大と共に成長しており、2025年度（6月～7月）の年間調達目標額は150億ドル限度です（割引債を除く）。

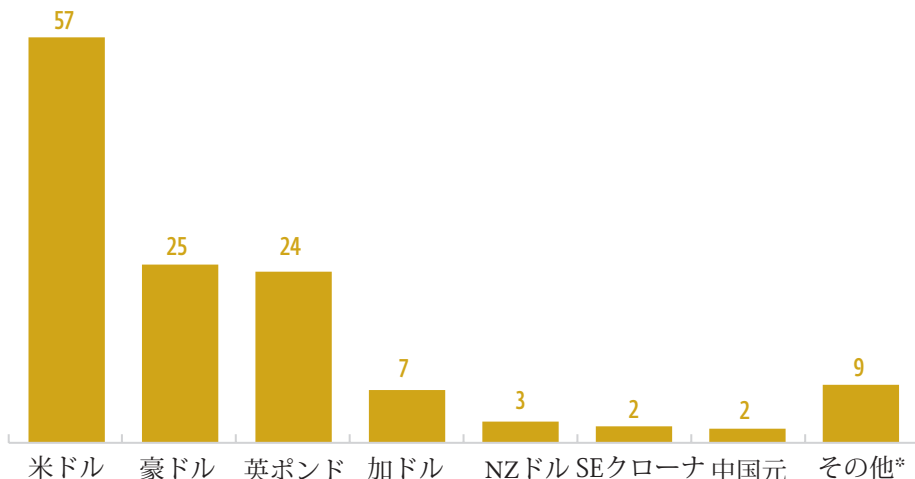
資金調達戦略は以下に焦点を当てています：

- コア資本市場における定期的なプレゼンスの確立
- オポチュニスティックかつ価格競争力のある取引を享受するため、幅広い資本市場でのアクセスを確保
- 新興資本市場の発展を促進するため、当該国内市場において現地通貨建て債券を発行
- グリーンボンド及びソーシャルボンド適格プロジェクトの成長を支援

柔軟性と費用対効果を高めるため、調達は通貨、国、投資家属性、期間の面で分散されています。2024年度、IFCは通貨22種類、期間1年～28年で借入を行いました。

2024年度、米ドル市場はIFCの最大調達先であり、総額の44%を占めました。IFCは米ドルのベンチマーク債の定期的な発行体であり、少なくとも年に1回、通常10億ドルから20億ドルの債券発行を行っています。IFCは、オーストラリアドル、カナダドル、ニュージーランドドル、英ポンド等、他の幾つかの通貨でベンチマーク規模の債券を発行しています。

2024年度 調達実績（通貨別、億米ドル）



* その他通貨：NOK, HKD, COP, ZAR, KRW, EUR, MXN, KZT, AZN, ZMW, JMD, CLP, UZS, DOP, BDT

IFCについて

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興市場の民間セクターに特化した世界最大規模の開発機関です。途上国で市場と機会を創出するため、IFCは持てる資金、知見そして影響力を活かし、世界100カ国以上で活動しています。居住可能な地球において貧困のない世界の実現に向け、民間セクターによる解決策の活用や民間資金の動員に取り組み、2024年度、IFCは途上国の民間企業と金融機関に対し過去最高となる560億ドルの投融資を承認しました。



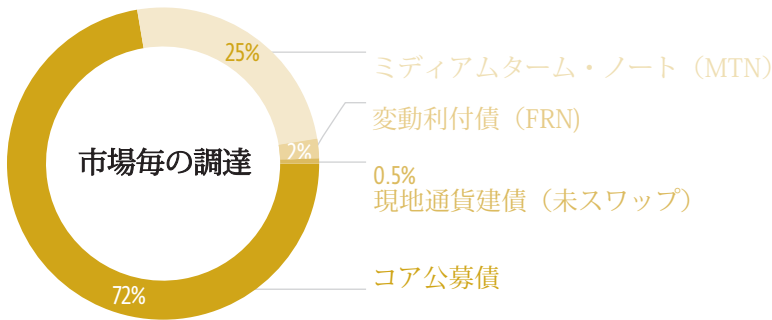
IFCの市場アクセスは非常に強固で高度に多様化されており、その結果、市場アクセスの質と深さについて「AAA」格付けが付与されています。同社は、資金調達を多様化し、新しい資金ソースを開拓しているパイオニアです。また、IFCは債券の買い戻しや早期償還も積極的に活用し、市場に流動性を供給しています。IFCは、その広範な資金調達手法により、米国と日本の個人投資家を含む、非常に大規模で多様な投資家基盤を有しています。

MOODY'S INVESTOR SERVICES, IFC'S CREDIT OPINION, January 2024



International Finance Corporation
WORLD BANK GROUP
Creating Markets, Creating Opportunities

2024年度 調達実績（市場毎）



IFCのグリーン及びソーシャルボンド・プログラム



2010年に始まったグリーンボンド・プログラムを通じ、2024年度までに21通貨で139億ドルを調達しました。



2017年に始まったソーシャルボンド・プログラムを通じ、2024年度までに14通貨で84億ドルを調達しました。

私たちの提供する価値

- 世界銀行グループの一員であるIFCの使命は、居住可能な地球上における、①極度の貧困の撲滅及び②繁栄の共有の促進です。
- IFCは、開発途上国の民間セクターへの投資を通じて、持続可能な成長を促します。
- IFCは、60年以上に亘って、新興市場における経済成長と発展を支援するために、資本市場における資金を動員してきました。
- IFCは、経済・金融の不確実性が高まる中、景気循環に対抗する（カウンターシクリカルな）役割も果たしています。
- また、IFCは、再生可能エネルギー、農業、健康、教育、金融市場など、幅広いセクターで発展途上国にアドバイザーサービスを提供しています。

この文書は、IFCが発行する債券の購入を提案・推奨するものではありません。

AAA格付を有するIFCの強み

- 株主は186カ国の加盟国政府であり、資本金の50%以上をAAA/AA格の国々が出資
- 設立（1956年）以降の着実な利益の計上による内部留保の蓄積により、強固な資本基盤を確立
- 非常に保守的な流動性カバレッジ比率(LCR)及びレバレッジ比率を備えた実質的な流動性バッファーを有する
- グローバルな資本市場において多様な投資家へのアクセスを有する
- 世界118カ国、2,000社以上の企業に投融資を行い、高度に分散されたポートフォリオを有する
- 1989年の最初の格付取得以来、S&P及びムーディーズより一貫してAAA/Aaaの格付評価を維持
- バーゼル規制の下でIFCのリスクウェイトは0%

Photo credit: IFC/Dominic Chavez

IFC財務部門の連絡先

資金調達グローバルヘッド

Flora Chao | fchao@ifc.org

ワシントンD.C.

Yuri Kuroki
Head of Funding - Americas
ykuroki@ifc.org

Zauresh Kezheneva
Financial Officer
zkezheneva@ifc.org

ワシントンD.C.

Investor Relations
Ayelet Perlstein
Head of Investor Relations
aperlstein@ifc.org

Obert Limbani
Associate Financial Officer
olimbani@ifc.org

Marsha Monteiro
Financial Analyst
mmonteiro@ifc.org

ロンドン

Elena Panomarenko
Head of Funding - Europe
epanomarenko@ifc.org

Roland Maassen
Associate Financial Officer
rmaassen@ifc.org

Investor Relations

Laura Stirling
Digital and Communication
Coordinator
lstirling@ifc.org

シンガポール

Marcin Bill
Head of Funding - Asia
mbill@ifc.org

Hiroyasu Hirano
Financial Officer
hhirano@ifc.org

東京

Investor Relations
安井 豊
Senior Financial Officer
yyasui@ifc.org